

CASBEE® 建築物総合環境計画概要書 新築

大阪 みらい

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

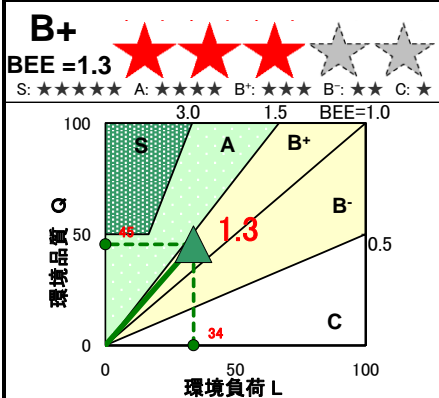
1-1 建物概要

| | | |
|---------|-----------------|----------------|
| 建物名称 | (仮称)中央区大手通2丁目計画 | |
| 建設地 | 中央区大手通2丁目 | |
| 建築用途 | 共同住宅 | |
| 建築主 | 関電不動産開発(株) | |
| 設計者 | (株)FKOアーキデザイン | |
| 敷地面積 | 404.13 | m ² |
| 建築面積 | 269.08 | m ² |
| 延床面積 | 2,979.80 | m ² |
| 構造/階数 | RC造 | / 地上15F |
| 完了年(予定) | 2020年12月 | |

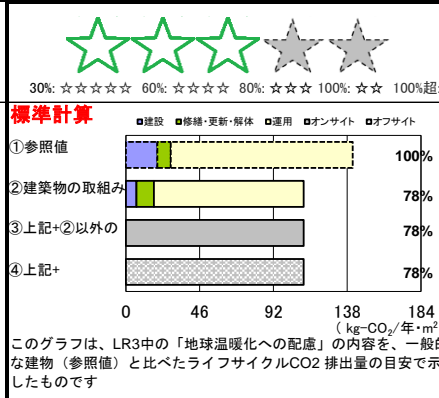
1-2 外観



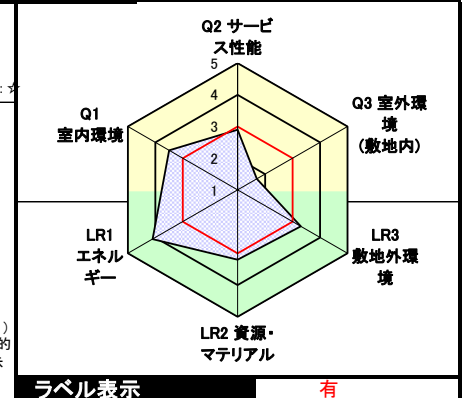
2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)



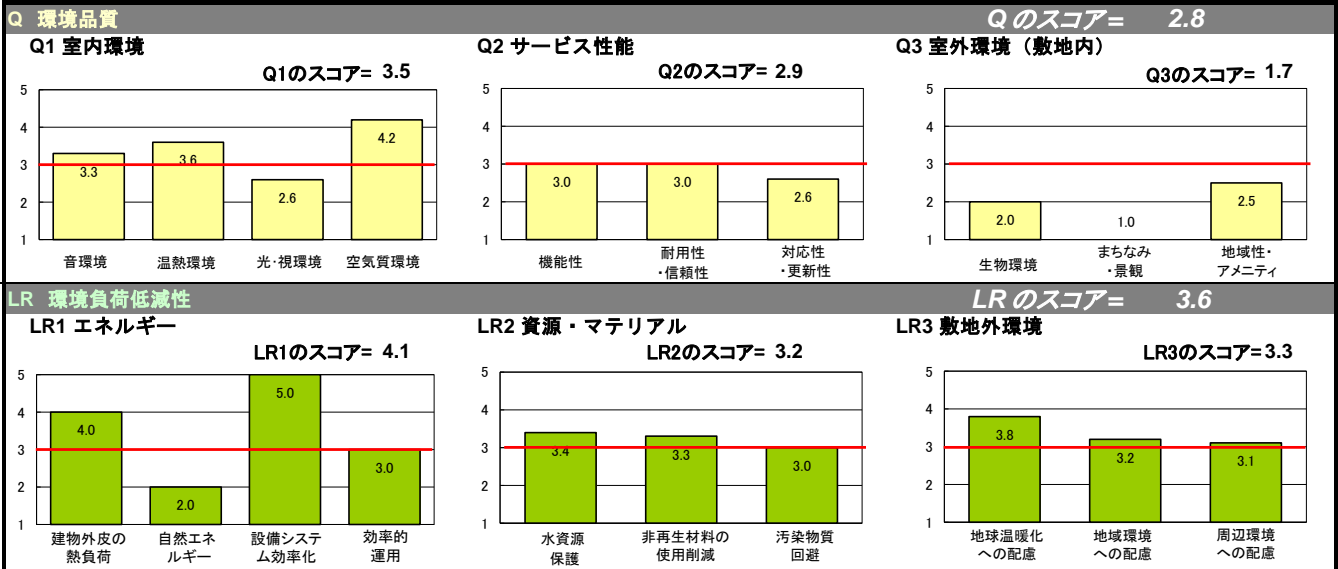
2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



3 設計上の配慮事項

| | |
|--|--|
| 総合 高効率機器を積極的に採用することで省エネルギー性に優れ、環境負荷を低く抑えられる建築物となるように配慮した。 | その他 特に無し。 |
| Q1 室内環境 専有部分においては、外皮性能は品確法の等級4を全住戸において満たし、開口部の遮音性能を高めることで室内環境の向上を図った。 | Q2 サービス性能 配管材料については耐久性の高いものを採用したほか、維持管理が容易な室の配置計画及び材料の選定を行うことで、性能が長期間保たれるように配慮した。 |
| LR1 エネルギー 断熱材は高断熱性能のものを使用し、建物内設備にはLED照明等高効率設備を採用することで、建物から発生するエネルギー量の低減に努めた。 | LR2 資源・マテリアル 外壁にはGL工法とすることで、将来の更新及び修繕の計画が容易となるように配慮したほか、節水にも配慮した設備を取り入れることで、環境負荷の低減を図った。 |
| Q3 室外環境 (敷地内) 敷地の周囲には極力緑化を設ける計画とすることで、周囲に溶け込む建物となるように配慮した。 | LR3 敷地外環境 建設に伴って発生するCO ₂ の発生量を低く抑えることで、地球温暖化防止に寄与したほか、燃焼機器を採用しない計画とした。 |

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = **1.3**

ラベル表示



| 環境性能 | | 評価点 | |
|----------------|--|------------|-----------|
| (1)CO2削減 | | 4.0 | |
| CO2削減に配慮した環境性能 | | 概要記入欄 | |
| LR3/ 1 / / | 地球温暖化への配慮 | 3.8 | LCCO2:78% |
| 配慮事項 | 建物内に設置する機器はLEDなどの高効率機器を採用するなどし「建設時」「運用時」「解体時」における「運用時」に発生するCO2を低く抑える計画とした。 | | |

| 環境性能 | | 評価点 | |
|-------------------------|--------------------------------|------------|------|
| (2)みどり・ヒートアイランド対策 | | 3.0 | |
| みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能 | | 概要記入欄 | |
| Q3 / 1 / / | 生物環境の保全と創出 | 2.0 | 特に無し |
| Q3 / 3 /3. 2/ | 敷地内温熱環境の向上 | 3.0 | 特に無し |
| LR3/ 2 /2. 2/ | 温熱環境悪化の改善 | 3.0 | 特に無し |
| 配慮事項 | 緑化については可能な限り計画し、敷地内の快適性向上に努めた。 | | |

| 環境性能 | | 評価点 | |
|----------------|--|------------|------------------|
| (3)建物の断熱性 | | 4.0 | |
| CO2削減に配慮した環境性能 | | 概要記入欄 | |
| LR1/ 1 / / | 建物の熱負荷抑制 | 4.0 | 品確法の等級4相当の基準を満たす |
| 配慮事項 | 全住戸について、品確法の等級4基準を満たす性能とすることで、高断熱住宅となるように計画した。 | | |

| 環境性能 | | 評価点 | |
|----------------|---|------------|----------------|
| (4)エネルギー削減 | | 5.0 | |
| CO2削減に配慮した環境性能 | | 概要記入欄 | |
| LR1/ 3 / / | 設備システムの高効率化 | 5.0 | BEI=0.84(建物全体) |
| 配慮事項 | 高効率機器を積極的に採用することで、省エネルギー基準を下回る建物となるように計画した。 | | |

省エネルギー基準計算結果

| | |
|--------|----|
| 基準適合状況 | 適合 |
|--------|----|

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

| | | | |
|------------|-----------------------------------|--------------------------|-----------------------|
| 外皮性能 | 住宅部分(品確法等級) 等級4 (相当) | 非住宅部分[BPI][BPIm] - | |
| 一次エネルギー消費量 | 建物全体[BEI][BEIm] 0.84 | 住宅部分[BEI] 0.84 | 非住宅部分[BEI][BEIm] - |

再生可能エネルギー利用設備導入検討シート（太陽熱利用設備用）

| | |
|--|--|
| 1 設備導入の検討 | |
| ① 周辺環境の把握 | |
| ② 日照条件の検討 | |
| ア 検討対象とする場所 | <input checked="" type="checkbox"/> 屋根部 地上高さ（ 44 ） m <input type="checkbox"/> 地上部 （ <input type="checkbox"/> 空地部分 <input type="checkbox"/> その他 ） <input type="checkbox"/> 壁面 <input type="checkbox"/> その他 （ ） |
| イ アの周囲における日射遮蔽物 | <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m 方位（ ）高さ（約 ） m 水平距離（約 ） m |
| ウ 日照の確保（冬至） | <input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分 |
| ③ 熱需要の条件等の検討 | |
| ア 建築物の用途 | 共同住宅 |
| イ 熱需要対象用途 | <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| ウ 設置可能面積 | （ 208.0 ） m ² |
| エ 概算年間熱利用量 | （ 181,083 ） MJ/年 |
| オ 利用設備に対する荷重対策 | <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし |
| カ 設置に備えた対応 | <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり （例：設備用基礎の設置） （ 設備用基礎の設置 ） |
| ④ 導入判断 | |
| 検討結果 <input type="checkbox"/> 導入する →具体的な検討を行い、実際に設置する設備概要を 2 に記入 <input checked="" type="checkbox"/> 導入しない | |
| 導入を見送る理由（複数選択可） <input type="checkbox"/> 日照が確保できない <input type="checkbox"/> 年間を通じて安定した熱需要がない <input type="checkbox"/> 躯体が荷重に対応できていない <input type="checkbox"/> 敷地内に設置する場所を確保できない <input checked="" type="checkbox"/> 費用負担が大きい <input type="checkbox"/> 本計画では見送るが、将来対応可能とする <input type="checkbox"/> その他（ ） | |
| 2 導入する設備の概要 | |
| ア 集熱パネル面積 | （ ） m ² |
| イ 概算年間熱利用量 | （ ） MJ/年 |
| ウ 熱需要対象用途 | <input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 給湯 <input type="checkbox"/> その他（ ） |
| 備考 | |